

豊前国下毛郡 大江氏本家累代 明治36年 大江政治書之

					生没年	西暦	
初代	孝範	藤原備中守		南朝軍	明德2年11月15日没	1391	吉祥院殿丸山道統居士 金剛山吉祥寺
2代	清範	大家江太郎藤原		南朝軍	嘉吉3年10月9日没	1443	初代孝範の菩提寺として建つ。印考より吉祥寺とする。火災で島田から角木へ
3代	叔範	大江弾正少弼藤原		南朝軍	享徳2年10月4日没	1453	
4代	昌範	大家江備中守藤原		大内氏被官 大家郷郷司	文明16年3月9日没	1484	
5代	成範	大家江備中守藤原		大家郷郷司			
6代	善範	大家江備中守藤原			文亀3年3月17日没	1503	
7代	友範	大江備中守藤原			永正14年6月9日没	1517	
8代	家範	大江備中守藤原			天文5年8月2日没	1536	
9代	茂範	大江備中守藤原			天文7年10月14日没	1538	
10代	幸範	前備中守藤原		大友氏被官 大江郷郷司	天正5年11月12日没	1577	
11代	統範	大江弾正少弼藤原	道範改め	大友軍として耳川の戦いで戦死	天正19年4月6日没	1591	
12代	重範	大江玄彌		黒田氏に抗し丸山城から蛸瀬に	寛永14年3月6日没	1637	黒田公より百石で召抱えられる。これより武事を捨て医業を志すにいたる。
13代	範時	大江道益	医家となる		明暦3年7月8日没	1657	細川氏から一代三百石 分家し僧となり八屋村に賢明寺建立 住職大江覚成なり
14代	秀範	大江道益	医家		寛文5年11月4日没	1665	先代重範の例により小笠原公より一代百石下賜せられ、以って奉公す。
15代	貞範	大江忠庵	医家		延宝5年9月4日没	1677	
16代	正範	大江忠庵	医家		元禄14年9月13日没	1701	
17代	安範	大江忠庵	医家		享保11年4月4日没	1726	
18代	道範	大江道庵	医家		延享元年12月15日	1744	
19代	範幸	大江忠庵	奥平藩医	嗣子なく家禄没収	安永3年10月26日没	1774	奥平昌成公より百石、のち昌成公より5人扶、江戸御供
20代	範幸妻			娘を養育し21代に継がせる	明和9年8月17日没	1772	
21代	幸範	大江忠庵			文化6年7月12日没	1809	
22代	翰範	大江忠庵 温古堂	藩医百石	儒道を教授、墓地は角木の吉祥寺にあり	文化13年11月13日没	1816	昌高公より白銀15枚賜る。2人扶実弟幾右衛門分家す
23代	淳範	大江忠庵	藩医百石		明治5年10月9日没	1872	
24代	亨範	大江忠庵	医家・儒者	耶馬溪跡田・法岸寺に入る。嗣子なく22代翰範弟幾右衛門孫保米が25代を継ぐ	天保2年12月29日生	(1831)	墓地は角木の吉祥寺にあり、三光庵一道居士
25代	清範	大江保米藤原			明治7年11月9日没	1874	墓地は大塚にあり
26代	政治		下毛郡議		明治7年6月14日生	(1874)	墓地は大塚にあり
27代	保雄						墓地は大塚にあり
28代	豪						